



2014～2015年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2014～2015年度
国際ロータリー・テーマ
ロータリーに輝きを
Light Up Rotary

国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホアン

国際ロータリー2720地区 **中津平成ロータリークラブ**

会長 梶原 清二 幹事 川崎 潤 会報担当 中島 宏一郎 クラブ広報委員長 中島 宏一郎

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1198回例会 平成27年2月5日(木)

- 本日の例会プログラム ゲスト卓話「中津市の広報事業について」
中津市役所広報広聴課 船方祐司課長
グランプラザ中津ホテル
- ◎次回例会プログラム 会員卓話「金融について」吉野達郎会員
グランプラザ中津ホテル



前回(1197回例会)の記録 平成27年1月29日(木)

■ゲスト

中津市役所商工振興課課長
評議員 矢野朝仁氏

■ビジター

■出席報告

会員数	24名
免除者数	2名
対象者数	22名
本日出席者	14名
欠席者数	8名
出席率	63.64%

■1196回出席報告の修正

1196回欠席者	8名
メイクアップ	1名
欠席者	7名
修正出席率	63.64% → 68.18%

●メイクアップ

長野(修)会員(中津中央1/6)

●欠席者

川崎会員・出納会員・土居会員・長野(定)会員
仲本会員・初倉会員・渡邊会員

◎ロータリーソング 四つのテスト

◎会長の時間 梶原会長

先週の例会の時間に日本人2人の人質の命と2億ドルの話をしました。

72時間の時間まで決められていましたがその後1人が殺害されました。

今の段階ではヨルダンに死刑囚として囚われている女性と日本人捕虜、後藤健二さんの交換をインターネットを通して伝えています。

ヨルダン側はイスラム国に囚われている自国のパイロットとの交換を主張していて日本人はその後であると言っています。そしてパイロット生存の「証」を見せろと言っています。

さて、イスラム国はラッカを首都とするテロリスト集団の域をこえてイデオロギー、戦略、戦術に長けた高度な軍事的力、資金を持っているとアメリカのエーゲル國務長官がいます。旧フセイン政権での政治家、軍人、公務員が形をか



えてイスラム国の中核を担っている。

イスラム国はシリア、イラクの支配地域で800万人を支配下においているという。

世界の80カ国から15000人の戦闘員が集まっているという。

外国人戦闘員には現地人の5～10倍の給料を払っているという。

インターネットをフルに利用している。

中東地区は紛争が絶えませんが何とか解決の糸口が見つからないのでしょうか。

◎幹事報告 川崎潤幹事

●例会変更 竹田RC

●週報受理 宇佐RC

●幹事報告

・中津商工会議所より会議所ニュース

・大分県立歴史博物館より「平成26年度企画展 道と旅のものごたがり ―観光の近代―」について依頼





2014～2015年度

中津平成週報 Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2014～2015年度
国際ロータリー・テーマ
ロータリーに輝きを
Light Up Rotary

・第2回ブライダル交流パーティー男性参加者の募集

◎本日のメニュー



◎その他報告事項

辛嶋会員よりロータリー情報をいただきました。

「クラブ会員からロータリアンになる為に」

変化の激しい時代、ロータリーも大きな変貌を遂げつつあります。確実に組織の運営方法に変化が見られます。DLPに始まりCLPの導入、戦略計画や未来の夢など、新しい文言がどんどん加わって来ています。昔はロータリーとは「親睦と奉仕が車の両輪である。」で良かったのですが、だんだんと説明が難しくなってきました。

ただ、ロータリーに限らず、組織と言うものは、その理想像を実現し発展を遂げていくためには、組織構成員の数、構成員の能力、加えて能力が生かされる環境が大切な要素となります。ロータリーで言うなら、会員の数、会員の質、有意義な奉仕活動、そしてそのための研修(プログラム)の実践です。

そこで小山ガバナー年度から当地区もロータリーを学び直す、新しい第一歩が踏み出されました。

日本34地区の中で13番目のRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)への参入です。地区内DL(ディスカッションリーダー)の誕生により、これまでの研修方法と異なり、地区内各種研修セミナーやIMなどの進め方にも変化が起きました。受講された方には、その変化に気づかれたことと思います。しかし、クラブ会員からリーダーシップをもったロータリアン(超我の奉仕を目的)になる為には、皆で協力してリーダーたる熟練者になる必要があります。まだまだ、私達には練習が必要です。更に今年度中にDL育成セミナーを行い、そして、正式な第1回RLI(パート1)に入って行きたいと思えます。DL育成セミナーへの参加希望者の方、またRLIセミナーには是非とも多くの参加者がありますようにご協力をお願いいたします。大いにロータリーに学び、世界平和の為に奉仕の実践をする人達を育てていくことに努力いたしましょう。

「ガバナー月信」1月号の地区研修リーダー
本田パストガバナー挨拶より抜粋

◎ニコニコボックス 担当：クラブ広報委員会

〔梶原会長〕本日は、中津市役所より矢野さんにお越しいただきました。卓話をよろしくお願いします。

〔中島会員〕矢野さま、本日はよろしくお願いします。本日、矢野様の補助をされている秋吉さんは、私が中津南高校で弓道部のコーチをしていた頃の教え子です。

◎ゲスト卓話

「勤労者福利厚生サービスについて」

中津市役所商工振興課課長・評議員

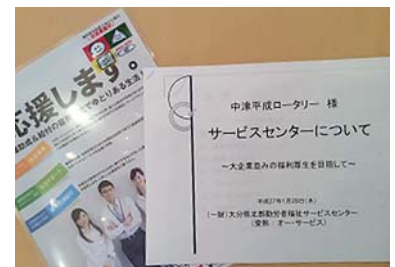
矢野朝仁氏

勤労者サービスセンターは、地域社会の勤労者の方々に大企業なみの福利厚生を提供することを目的に設置されたもので、中津市では前身の組織から遡ると昭和50年から存在しているそうです。

財源は、国と市から捻出されているとのことでした。



平成7年に任意団体「中津市勤労者福祉サービスセンター」として運営開始し、その後宇佐・下毛地区などを事業エリアに繰入れ、現在では福岡県側の豊前・上毛・築上エリアも事業エリアに繰入れられているとのことです。



サービスの内容としては、会員の慶弔救済金の給付や会員やそのご家族向けにイベントの主催や補助事業、会員の健康管理や余暇を楽しむ各種助成事業などを行われているとのことでした。

当サービスセンターはこれからも会員の皆様の日々のライフワークの中で、仕事も余暇も充実していただくためにできる限りの応援をしていきたいとのことでした。

